

## 後期高齢者医療制度 区長「必要な制度」

# 廃止を求める請願否決！！

—自民・公明・フォーラム民主・みらい—

### 「必要な制度」「中止は求めない」またも区長答弁

区長は当選後初めての本会議で、党議員の質問に後期高齢者医療制度について、またもや「必要な制度」「国に廃止は求めない」の態度に固執しています。

一方、区民の怒りの声を無視することもできず、「高齢者の不安や負担感の解消を図る措置を実施する」と答弁。

区長選での金子候補に寄せられた11,803票の区民の力です。

### 民主党 国会では廃止要求、区議会では「請願」否決

フォーラム民主の社民党議員は、運営委員会では発言せず、本会議の採決では議場を退席しています。フォーラム民主は、「民主・社民・オンブズマンみなと」が同一会派を構成し、委員長ポスト2、

副委員長ポスト1を得ながら、肝心の採決ではバラバラの態度に、傍聴者から「野合では？」の声が上がっていました。

### 廃止を求める「請願」オール与党が不採択

6、7月議会は「後期高齢者医療制度の廃止を国に求める請願」が提出され、委員会室に入りきれない傍聴者が詰めかけ、審議を見守りました。党議員団は請願の採択を主張しましたが、自民、公明、フォーラム民主、みらいのオー

ル与党で否決。

傍聴者からは「自民、公明もひどいが、民主と社民党は参院で『廃止法案』を成立させたのに、区議会で否決するとはどういうことだ」と怒りの声が上がっていました。

「廃止」を求める請願への態度				
共産	自民	公明	フォーラム民主	みらい
○	×	×	× 1名退席	×



議場いっぱいの傍聴者

### 待機児童解消に暫定施策

「区長は4年前に保育園の待機者をなくすと言った。約束守って。」区長選挙のなかで区民の怒りは募るばかりでした。

党議員団は、区内の多くの国公有地の未利用地を具体的に示し、「用地を確保し、緊急課題として取り組むべき」と迫りました。



区長は、「待機児童が解消されていないのが現状」と、公約を守らなかったことを認め、「(予定の)各施設が整備される間にも、適地を選定し、暫定施設を整備するなど、待機児童を減らしていく」と答弁しました。

### 「今年度、赤坂中、芝小の耐震補強を行い、計画的に耐震化を進める」

港区では3つの小・中学校の校舎や体育館の耐震補強が残されたままです。党区議団は「あのときやっておけば良かった」では間に合わない。避難所の耐震化は待ったなしの課題、補正予算を組んでも実施をと迫りました。これに対し区長は、2つの学校の耐震補強工事実施を約束しました。



赤坂中耐震工事風景

## 区長選挙 善戦・健闘

### 金子候補11,803票を獲得

6月15日投・開票で行われた港区区長選挙、日本共産党推薦、港民主区政をつくる会の金子たかしげ候補は、オール与党を相手に善戦・健闘しましたが、当選はなりません。

区議会の構成は、オール与党26名対日本共産党6名。その上、立候補表明から1ヵ月という中で選挙戦でしたが、「後期高齢者医療制度の廃止」「大規模開発より、区民の暮らし最優先を」の訴えが、区民の中に共感を拡げ、前回区長選結果の倍以上の得票

につながりました。

区長選挙が単独で行われるようになって、党推薦の候補が1万票を超えたのは初めてです。区長は当選後の本会議で、金子候補の政策の一部を取り入れざるを得なくなっています。

前回 (2004年6月)			今回 (2008年6月)		
候補者名	党派	得票数 (率%)	候補者名	党派	得票数 (率%)
池田 一利	無	5,821 (16.58)	金子たかしげ	無	11,803 (28.69)
○たけい雅昭	無	14,477 (41.82)	○たけい雅昭	無	29,334 (71.73)
こさい太郎	無	9,535 (27.17)			
きくち正彦	無	5,066 (14.43)			
当日有権者数		144,077	当日有権者数		163,481
投票率		25.84 (%)	投票率		25.75 (%)

日本共産党

港区議員団ニュース

2008年夏号

日本共産党港区議員団

〒105-8511 東京都港区芝公園1-5-25 TEL: 03-3578-2945 FAX: 03-3578-2947

メール mail@jcp-minatokugidan.gr.jp

ホームページ http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp

「もう高層ビルはいらない」の区民の声を無視

# 「再開発」いっそう促進！！

— 本会議で区長答弁 —

## 「再開発補助金を中止せよ」 党区議団

### 「補助金は必要」

港区は今後9年間で、森ビルなどへの再開発に200億円もの税金を投入しようとしています。党議員団が行った区民アンケートでは、「もう超高層ビルはいらない」「開発をコントロールすべき」、再開発への補助金投入についても、「やめるべき」の声が80%以上と、圧倒的多数でした。

党議員団はこれらの区民の強い要求に応え「森ビルなどへの税金投入を、きっぱりと中止

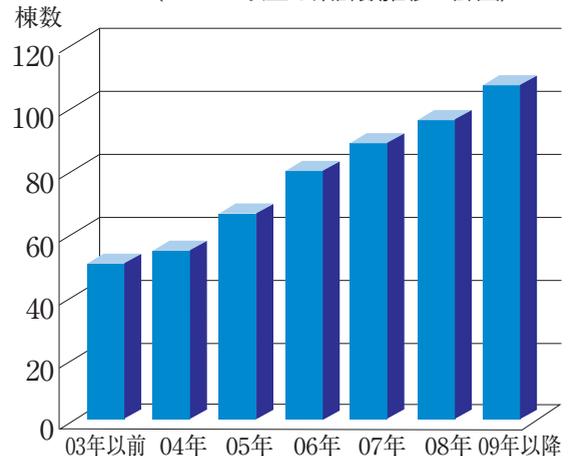
### 武井区長

すべき」と質問しました。

区長は「市街地再開発組合等への補助金は必要」と税金投入を続ける姿勢を、改めて明らかにしました。また、党区議団は、港区でも「高さ制限」を設定すべきと質問しました。

区長は、「駅周辺部などの業務、商業機能の集積している地域では、建物の高層化が必要となる場合もある」などと、答弁しています。

増え続ける港区内の超高層ビル  
(100m以上の累計数推移・計画)



介護の現場

## このままでは介護ができなくなる

### 「介護職の待遇改善を求める請願」 継続に

仕事がついに給料が低いことなどから、退職が増える一方、介護職員のなり手がいないことが大きな社会問題になり、国も改善に向け動きはじめています。党区議団は、千代田区で実施している介護職員の確保のため、家賃補助など事業所への支援策の実施を提案しつつありますが、区長は認めようとしません。

今議会に「介護職の待遇改善を求める請願」

が提出されました。請願者から「求人広告をだしてもほとんど応募がない」「休憩時間もとれず、自転車で移動中公園で食事をする」など深刻な実態がリアルに説明されました。

このままでは、「介護が受けられない」という深刻なことになりかねないことから、党委員は保険者である港区が「支援するのは当然」と、「採択」を主張しましたが、自民・公明・民主などによって「継続」となりました。

## 庶民のくらしが大変なとき、都議の豪華税金旅行1人あたり189万円

### 自民・民主・公明 それぞれ仲間同士で

諸物価の相次ぐ高騰と社会保障の切り下げ、増税などで庶民のくらしは一層深刻です。

こうした中、都議会の自民・民主・公明の議員は、海外視察と称して、豪華税金旅行を行っています。平成17年の都議選以降、31人の都議が総費用5860万円、1人あたり189万円もかけた豪華旅行を行っています。行き先は、シカゴ、ニューヨーク、アテネ、ロンドン、ミュンヘン、パリなどです。

### 港区選出議員も

港区選出の自民党都議も、平成18年に1人あたり141万円の経費をかけて、ワシントン、ニューヨークを視察しています。

同じく港区選出の民主党都議は、今年10月にドバイ、イタリア、ミュンヘンに、10日間視察を計画しています。都議の海外視察は、会派別に仲間同士で行っています。

日本共産党は、海外視察の中止を求めています。

## 困ったときこそ親身の相談 日本共産党港区議員団 いつでもお気軽にどうぞ



いのくま正一

- ◆党議員団幹事長
- ◆議会運営委員
- ◆区民文教常任委員
- ◇エレベータ事故対策特別委員
- ◇交通・環境等対策特別委員

TEL : 3431-3449



沖島えみ子

- ◆保健福祉常任委員
- ◇まちづくり・子育て等対策特別委員
- ◇エレベータ事故対策特別委員

TEL : 3443-4517



大滝 実

- ◆総務常任委員
- ◇まちづくり・子育て等対策特別委員

TEL : 3457-1525



風見 利男

- ◆区議会副議長
- ◆建設常任委員
- ◇行財政等対策特別委員

TEL : 3400-5015



熊田ちづ子

- ◆議会運営委員
- ◆保健福祉常任委員
- ◇行財政等対策特別委員

TEL : 3583-1402



星野たかし

- ◆党議員団団長
- ◆総務常任委員
- ◇交通・環境等対策特別委員長

TEL : 3449-1202